

## 今後の取組について

2025年6月30日 第13回持続可能な調達ワーキンググループ

公益社団法人  
2025年日本国際博覧会協会  
持続可能性局



# 1. 今後の調達コードに関する運用について

- チェックシートの確認に加え、万博会場等で以下活動を予定。
  - ・持続可能性(人権、調達コード、資源循環、脱炭素)の観点での「SUSパトロール」
  - ・特に留意している労働・人権、個別基準(木材、紙、農・畜・水産物、パーム油)の遵守状況を確認するための巡回・確認
  - ・調達コードに関する表彰対象の調査・確認
  - ・通報受付対応(グリーンバンス・メカニズム)の運用
- 通報受付対応については、閉幕後も2025年12月末まで受け付けることとしており、通報対応アドバイザー会議や助言委員会でのご意見を踏まえて適切に対応を行っていく。

## 2.調達コードに関する表彰について

持続可能性の各カテゴリーにおいて表彰を行うこととし、5月に事業者に周知済。

### ● 表彰項目(調達コード分)

#### ①共通基準部門賞

- ・先進性、社会的影響力の大きさ、調達コードへの適合度の高さが認められる取組について、その取組主体による宣言や公表の実施状況を審査し、表彰

#### ②個別基準部門賞

- ・認証品等及び推奨品目の調達の絶対量及び相対的な調達割合、認証品等及び推奨品目の使用についての取組主体の宣言、公表の実施について審査を行い表彰

### ● スケジュール(予定)

7月15日(火) 応募締切

～8月中旬 書類審査(現地確認等)

8月中旬 委員審査・選考

9月中旬 授賞式

### 3.持続可能性行動計画（最終報告書）の検討・作成

大阪・関西万博における持続可能性行動計画(最終報告書)については、策定済の行動計画の枠組みを継承する予定としており、調達コードに関する記載は5つのPの中のProsperityの中で記載予定。

#### (参考) 第12回調達WG資料抜粋

##### 持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画 (持続可能性行動計画) の概要



マネジメントシステム(ESMS)では、KPI、目標値を定めてその達成状況、達成方策の立案の進捗状況を検証し、行動計画という形にまとめる。  
計画は各年度末に改定。



### 3.持続可能性行動計画（最終報告書）の検討・作成

具体的な内容については、東京2020大会の内容を参考にしつつ、表彰結果、事業者の取組（良い取組、協会から指摘した内容等）についても記載予定。具体的な内容については、次回の調達WGでご議論いただく予定。

#### ●持続可能性行動計画（最終報告書） 調達コードに関する記載項目（案）

1. 概要
2. 調達コードの策定・普及と運用  
（1）調達コードの策定・普及、（2）調達コードの実施・運用
3. 持続可能性に配慮した木材、紙、農・畜・水産物及びパーム油の調達
4. 通報受付窓口  
（1）通報の受付・処理の状況、（2）通報受付窓口の取組、（3）グリーンバンス・メカニズムの普及に向けて
5. 表彰、優良事例集
6. 今後に向けて

#### [データ]

- ・日本国内における持続可能性に関する認証の普及状況
- ・木材の調達（リング）、紙の調達（ポスター、チラシ、パンフレット）、農・畜・水産物の調達（協会関連発注における生鮮品）、パーム油製品の調達（揚げ油、石鹸洗剤）
- ・通報受付窓口で受け付けた通報案件の概要

## 4. 今後の調達WGスケジュール（案）

2025年11月頃 第14回調達WG

- ・調達コード遵守状況（確認・モニタリング状況報告）
- ・通報受付対応（通報受付対応状況報告）
- ・持続可能性行動計画（最終報告書）（案）提示

2026年2月頃 第15回調達WG

- ・調達コード全体総括